

令和5年度加古川水系広域農業水利施設総合管理事業

川代ダム取水ゲート塗装工事

特 別 仕 様 書

近畿農政局

淀川水系土地改良調査管理事務所

加古川水系広域農業水利施設総合管理所

項 目	内 容	備考
第 1 章 総 則	加古川水系広域農業水利施設総合管理事業 川代ダム取水ゲート塗装工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書(施)」という）及び近畿農政局農村振興部制定「近 畿 農 政 局 施 設 機 械 工 事 共 通 事 項 書」（ URL : https://www.maff.go.jp/kinki/seibi/sekei/kouji_gyoumu/kouji_gyoumu.html ）（以下、「共通事項書」という。）に基づいて実施する。共通仕様書(施)及び共通事項書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。	
第 2 章 工事内容		
1. 目的	本工事は、直轄管理事業（加古川水系地区）で管理する川代ダムにおける取水ゲート設備の塗替塗装を行うものである。	
2. 工事場所	兵庫県丹波篠山市大山下 353-1	
3. 工事概要	本工事の概要は次のとおりとする。 (1) 塗替塗装 取水ゲート上下段扉（1 号・2 号）：138m² らせん階段：88m² ジブクレーン：20m² (2) 溶出量試験：1 式	
4. 工事数量	別紙「工事数量表」のとおりである。	
5. 施工範囲	本工事の施工範囲は、別紙「工事数量表」に示す整備工事の一切とする。	
6. 工期	本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者などの確保が図れるよう余裕期間を設定した工事である。 余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。 工期：令和 5 年 10 月 5 日から令和 6 年 2 月 1 日 （余裕期間：契約締結の日から令和 5 年 10 月 4 日まで） 契約締結後において、余裕期間内に受注者の準備が整った場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。 なお、低入札価格調査等により、上記の工事の始期以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。 また、工事実績情報システム（コリンズ）に登録する技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。	
第 3 章 施工条件		
1. 工程制限	出水期（6 月 1 日～10 月 30 日）においては、ゲート操作に影響を与える現場作業を行ってはならない。また、これ以外の期間においても降雨の影響等により工事中止等の指示をする場合がある。	

項 目	内 容	備考
2. 落水予定	貯水池内の落水は、10 月 10 日頃に予定しており、落水後、現場作業は可能である。 ただし、気象状況や下流ダムへの送水状況によっては、落水予定日が変わることがある。	
3. 施工順	再貯水を 1 月中旬に実施することを予定しており、取水ゲートに関する工事を優先して施工するものとする。	
4. 工事期間中の休業日	工事期間中の休業日は、休日等 4 週 8 休を見込んでいる。	
第 4 章 現場条件		
1. 関連業務	受注者は、次に示す関連業務の受注者と相互に協力し、施工しなければならない。 (1) ダム等基幹農業水利施設管理業務 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日) (2) 吞吐ダム他水管理設備点検整備業務 (令和 5 年 5 月 13 日～令和 6 年 3 月 27 日)	
2. 搬入路	現場への搬入路は最大 10t 車の進入が可能であり、一般車両を通行止めとすることが可能である。	
3. 第三者に対する措置	(1) 保安対策 本工事における交通誘導警備員は計上していないが、現地交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。 (2) その他 既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。	
第 5 章 提出図書等		
1. 提出図書	共通仕様書（施）第 1 章 1-1-6 に示す施工計画書及び承諾図書、第 1 章 1-1-26 に示す完成図書及び施工図は、A 4 版の装丁とし、監督職員が指定する日までに次に示す部数（承諾後の返却分を含む）を作成し、監督職員に提出するものとする。 施工計画書 2 部、承諾図書 2 部、施工図 2 部、完成図書 2 部 なお、完成図書及び承諾図書の内容、編集等については監督職員と打合せのうえ作成するものとする。また、提出書類に変更が生じた場合はその都度変更書類を提出するものとする。	
第 6 章 貸与する資料等		
1. 貸与する資料	本工事の施工において関連する次の資料を貸与する。 (1) 資料名 ・川代ダム取水ゲート製作据付工事 完成図書（平成元年 10 月）	

項 目	内 容	備考						
第7章 仮 設	・平成22年度水利施設等（大川瀬ダム他洪水吐設備等塗装）整備工事の電子納品：取水ゲートの塗装塗替（前回） （2）貸与期間 工事施工中 （3）返納場所 川代ダム管理所 （4）貸与条件 貸与資料の内容については、発注者の許可なく他に公表してはならない。							
1. 工事用電力	本工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とするが、ゲート操作（試運転）に必要となる電力は、発注者の負担とする。							
2. 足場工	塗装塗替については、足場を設けるものとし、安全ネットを張る等十分安全に留意するものとする。							
3. 塗装除去における飛散防止対策	既設塗装には鉛とクロムが含まれている。そのため、以下の飛散防止対策等を行わなければならない。 （1）作業場から粉塵等を持ち出さないよう作業衣等の洗浄の徹底。 （2）電動ファン付き又は同等の機能を有する呼吸用保護具の適切な使用。 （3）粉塵を運搬または貯蔵する際は、堅固な容器または確実な包装を施す。 （4）粉じんが飛散しない飛散防止シートを設置し、錆・塗膜・塗料などを水面及び構造物に落とさないよう留意する。 （5）剥離除去した塗膜（1号・2号取水ゲート、らせん階段、ジブクレーン）に対し溶出量試験（産業廃棄物の検定方法に係る分析操作マニュアル（環境省）による）を実施し、その結果を監督職員に報告するものとする。							
第8章 工事用材料								
1. 規格及び品質	本工事で使用する主要材料の規格及び品質は次のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書を提出しなければならない。なお、JIS規格品については、改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づいた国に登録された民間第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場（JISマーク表示認証工場）とする。 （1）塗替塗装関係：重防食塗料（下塗・中塗・上塗） 鉛、クロム又はPCBを含む有害金属を含有しないこと。							
2. 見本又は資料の提出	以下に示す主要材料は、使用前に見本、カタログ及び試験成績書等を監督職員に提出して承諾を得なければならない <table><tr><th>材 料 名</th><th>提 出 物</th></tr><tr><td>塗 料</td><td>カタログ・試験成績書・色見本等</td></tr><tr><td>塗膜剥離剤</td><td>カタログ・試験成績書等</td></tr></table>	材 料 名	提 出 物	塗 料	カタログ・試験成績書・色見本等	塗膜剥離剤	カタログ・試験成績書等	
材 料 名	提 出 物							
塗 料	カタログ・試験成績書・色見本等							
塗膜剥離剤	カタログ・試験成績書等							

項 目	内 容	備考																																																						
第9章 施工																																																								
1. 一般事項	(1) 素地調整時に発生する劣化塗膜片及び塗装時の塗料が水面及び構造物に飛散しないよう留意するものとする。 (2) 塗装は各部の塗装仕様により施工するものとし、塗膜の損傷が生じた場合は正規の塗装と同等以上の補修を行い仕上げるものとする。 (3) 剥離除去作業は、湿式による作業の実施、作業主任者の選任と適切な指揮の実施、有効な保護具の着用等を実施するものとする。																																																							
2. 塗装作業	(1) 塗装作業は、鋼材表面の素地調整を十分に行った後に実施し、一次プライマー及び各層の塗り重ねは塗装系に応じた塗装間隔を守り、各層毎に色分けを行い施工するものとする。																																																							
3. 塗装仕様	塗装仕様は次のとおりとする。 (1) 取水ゲート（上段・下段：1号・2号） 塗装仕様：エポキシ樹脂系 <table><tr><th>施工場所</th><th>工 程</th><th>塗料等</th><th>参考膜厚</th><th>塗色</th></tr><tr><td rowspan="6"></td><td>1. 旧塗膜剥離</td><td>剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む</td><td>—</td><td rowspan="6">赤系</td></tr><tr><td>2. プライマー処理</td><td>エポキシジンクリッチプライマー</td><td>(15) μ m</td></tr><tr><td>3. 下塗り(1)</td><td>エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）</td><td>100 μ m</td></tr><tr><td>4. 下塗り(2)</td><td>エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）</td><td>100 μ m</td></tr><tr><td>5. 中塗り</td><td>エポキシ樹脂塗料中塗り</td><td>40 μ m</td></tr><tr><td>6. 上塗り</td><td>エポキシ樹脂塗料上塗り</td><td>40 μ m</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>280 μ m</td><td></td></tr></table> （ ）数値は膜厚には含まない。 参考）既設塗装仕様：エポキシ樹脂系（平成23年度塗り替え） <table><tr><th>施工場所</th><th>工 程</th><th>塗料等</th><th>参考膜厚</th><th>塗色</th></tr><tr><td rowspan="4">現場</td><td>第1層</td><td>長期防食エポキシ樹脂塗料</td><td>100 μ m</td><td rowspan="4">赤系</td></tr><tr><td>第2層</td><td>長期防食エポキシ樹脂塗料</td><td>100 μ m</td></tr><tr><td>第3層</td><td>エポキシ樹脂塗料中塗り</td><td>40 μ m</td></tr><tr><td>第4層</td><td>エポキシ樹脂塗料上塗り</td><td>40 μ m</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td></td><td>280 μ m</td><td></td></tr></table>	施工場所	工 程	塗料等	参考膜厚	塗色		1. 旧塗膜剥離	剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む	—	赤系	2. プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー	(15) μ m	3. 下塗り(1)	エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）	100 μ m	4. 下塗り(2)	エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）	100 μ m	5. 中塗り	エポキシ樹脂塗料中塗り	40 μ m	6. 上塗り	エポキシ樹脂塗料上塗り	40 μ m	計			280 μ m		施工場所	工 程	塗料等	参考膜厚	塗色	現場	第1層	長期防食エポキシ樹脂塗料	100 μ m	赤系	第2層	長期防食エポキシ樹脂塗料	100 μ m	第3層	エポキシ樹脂塗料中塗り	40 μ m	第4層	エポキシ樹脂塗料上塗り	40 μ m	合計			280 μ m		
施工場所	工 程	塗料等	参考膜厚	塗色																																																				
	1. 旧塗膜剥離	剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む	—	赤系																																																				
	2. プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー	(15) μ m																																																					
	3. 下塗り(1)	エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）	100 μ m																																																					
	4. 下塗り(2)	エポキシ樹脂塗料下塗り（水中部用）	100 μ m																																																					
	5. 中塗り	エポキシ樹脂塗料中塗り	40 μ m																																																					
	6. 上塗り	エポキシ樹脂塗料上塗り	40 μ m																																																					
計			280 μ m																																																					
施工場所	工 程	塗料等	参考膜厚	塗色																																																				
現場	第1層	長期防食エポキシ樹脂塗料	100 μ m	赤系																																																				
	第2層	長期防食エポキシ樹脂塗料	100 μ m																																																					
	第3層	エポキシ樹脂塗料中塗り	40 μ m																																																					
	第4層	エポキシ樹脂塗料上塗り	40 μ m																																																					
合計			280 μ m																																																					

項 目	内 容	備考																											
4. 建設資材等の 搬出	(2) ジフクレーン、らせん階段 塗装仕様：エポキシ・ポリウレタン樹脂系																												
	<table><tr><th>施工 場所</th><th>工 程</th><th>塗料等</th><th>参考 膜厚</th></tr><tr><td rowspan="6"></td><td>1. 旧塗膜剥離</td><td>剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む</td><td>—</td></tr><tr><td>2. プライマー処理</td><td>エポキシジンクリッチプライマー</td><td>(15) μm</td></tr><tr><td>3. 下塗り(1)</td><td>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)</td><td>80 μm</td></tr><tr><td>4. 下塗り(2)</td><td>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)</td><td>80 μm</td></tr><tr><td>5. 中塗り</td><td>弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料中塗り</td><td>40 μm</td></tr><tr><td>6. 上塗り</td><td>弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗り</td><td>30 μm</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>230 μm</td></tr></table>	施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚		1. 旧塗膜剥離	剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む	—	2. プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー	(15) μm	3. 下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)	80 μm	4. 下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)	80 μm	5. 中塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料中塗り	40 μm	6. 上塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗り	30 μm	計			230 μm	
	施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚																									
		1. 旧塗膜剥離	剥離剤使用（湿式） 2種ケレン含む	—																									
		2. プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー	(15) μm																									
		3. 下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)	80 μm																									
		4. 下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用)	80 μm																									
		5. 中塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料中塗り	40 μm																									
		6. 上塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗り	30 μm																									
	計			230 μm																									
() 数値は膜厚には含まない。 塗色：ジフクレーンは黄色系、らせん階段は淡彩色																													
(参考) ジフクレーンの既設塗装仕様：エポキシ・ポリウレタン樹脂 (平成23年度塗替)																													
<table><tr><th>施工 場所</th><th>工 程</th><th>塗料等</th><th>参考 膜厚</th><th>塗色</th></tr><tr><td rowspan="4">現場</td><td>第1層</td><td>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td><td>80 μm</td><td rowspan="4">黄色系</td></tr><tr><td>第2層</td><td>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td><td>80 μm</td></tr><tr><td>第3層</td><td>ポリウレタン樹脂塗料中塗り</td><td>40 μm</td></tr><tr><td>第4層</td><td>ポリウレタン樹脂塗料上塗り</td><td>30 μm</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>230 μm</td><td></td></tr></table>	施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚	塗色	現場	第1層	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μm	黄色系	第2層	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μm	第3層	ポリウレタン樹脂塗料中塗り	40 μm	第4層	ポリウレタン樹脂塗料上塗り	30 μm	計			230 μm						
施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚	塗色																									
現場	第1層	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μm	黄色系																									
	第2層	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	80 μm																										
	第3層	ポリウレタン樹脂塗料中塗り	40 μm																										
	第4層	ポリウレタン樹脂塗料上塗り	30 μm																										
計			230 μm																										
(参考) らせん階段の既設塗装仕様：フタル酸樹脂系（平成元年度施工）																													
<table><tr><th>施工 場所</th><th>工 程</th><th>塗料等</th><th>参考 膜厚</th><th>塗色</th></tr><tr><td rowspan="4">現場</td><td>第1層</td><td>鉛系錆止塗料1種</td><td>35 μm</td><td rowspan="4">淡彩色</td></tr><tr><td>第2層</td><td>鉛系錆止塗料2種</td><td>35 μm</td></tr><tr><td>第3層</td><td>合成樹脂調合ペイント中塗り 2種</td><td>25 μm</td></tr><tr><td>第4層</td><td>合成樹脂調合ペイント上塗り 2種</td><td>25 μm</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>120 μm</td><td></td></tr></table>	施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚	塗色	現場	第1層	鉛系錆止塗料1種	35 μm	淡彩色	第2層	鉛系錆止塗料2種	35 μm	第3層	合成樹脂調合ペイント中塗り 2種	25 μm	第4層	合成樹脂調合ペイント上塗り 2種	25 μm	計			120 μm						
施工 場所	工 程	塗料等	参考 膜厚	塗色																									
現場	第1層	鉛系錆止塗料1種	35 μm	淡彩色																									
	第2層	鉛系錆止塗料2種	35 μm																										
	第3層	合成樹脂調合ペイント中塗り 2種	25 μm																										
	第4層	合成樹脂調合ペイント上塗り 2種	25 μm																										
計			120 μm																										

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。	
---	--

項 目	内 容	備考
第 10 章 試験及び 検査 1. 検測または確認（施工段階確認） <		

項 目	内 容	備考
2. 週休 2 日による施工	・ 工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R、BD-R）正副 計 3 部 ・ 工事完成図書の出力 2 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可） （1）本工事は、週休 2 日を実施した場合に対象期間中の現場閉所状況に応じて労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正し設計変更を行う試行対象工事である。受注者は、週休 2 日を実施する希望がある場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を監督職員へ提出し、本試行を適用することができる。 （2）「週休 2 日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4 週 8 休以上となることをいう。なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。 1) 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。 2) 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1 日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。 （3）週休 2 日（4 週 8 休以上）とは、対象期間内の現場閉所日数の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定 外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。 （4）週休 2 日（4 週 8 休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。 1) 受注者は、週休 2 日の実施を希望する場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。 2) 受注者は、週休 2 日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、休 2 日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。 3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休 2 日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。 4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。 5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。 （5）監督職員が週休 2 日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。 （6）発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率	

項 目	内 容				備考
第 14 章 定めなき 事項	分)、現場管理費（率分）を補正し設計変更を行うものとする。				
	1) 補正係数				
		4 週 8 休以上 〔 現場閉所率 28.5%(8 日/28 日) 以上 〕	4 週 7 休以上 4 週 8 休未満 〔 現場閉所率 25%(7 日/28 日) 以上 28.5%未満 〕	4 週 6 休以上 4 週 7 休未満 〔 現場閉所率 21.4%(6 日/28 日) 以上 25%未満 〕	
	労務費	1.05	1.03	1.01	
	機械経費（賃料）	1.04	1.03	1.01	
	共通仮設費（率分）	1.04	1.03	1.02	
	現場管理費（率分）	1.09	1.07	1.05	
	2) 補正方法				
	当初積算において 4 週 8 休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。また、発注者は現場閉所の達成状況を確認後、4 週 8 休に満たない場合は、工事請負契約書第 25 条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①に示す補正係数の表に掲げる現場閉所率に応じた補正係数を用いて補正し、請負代金額を減額変更する。なお、4 週 6 休に満たないもの及び、工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて監督職員へ報告しなかったもの（受注者が週休 2 日の取組を希望しないものを含む）については、当初積算の補正分を全て減ずるものとする。				
	(1) 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても施工上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。				
(2) この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。					

令和5年度 川代ダム取水ゲート塗装工事 工事数量表

工 種	規 格	単位	数量	備考
1. 塗替塗装				
(1) 取水ゲート 上段・下段(1号・2号) エポキシ樹脂系				
現場水洗い清掃		m ²	138	
旧塗膜剥離	剥離剤使用(湿式): 塗布・剥離回数3回 、塗布量は各回1.0kg/m ² 、2種ケレン含む	m ²	138	
プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー 膜厚:15μm	m ²	138	
下塗り(1)	エポキシ樹脂塗料(水中部用) 膜厚:100μm	m ²	138	
下塗り(2)	エポキシ樹脂塗料(水中部用) 膜厚:100μm	m ²	138	
中塗り	エポキシ樹脂塗料 赤系(淡) 膜厚:40μm	m ²	138	
上塗り	エポキシ樹脂塗料 赤系 膜厚:40μm	m ²	138	
(2) らせん階段	エポキシ・ポリウレタン樹脂系			
旧塗膜剥離	剥離剤使用(湿式): 塗布・剥離回数1回 、塗布量は各回1.0kg/m ² 、2種ケレン含む	m ²	88	
プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー 膜厚:15μm	m ²	88	
下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用) 膜厚:80μm	m ²	88	
下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用) 膜厚:80μm	m ²	88	
中塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料中塗り、膜厚:40μm、 らせん階段は淡彩	m ²	88	
上塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗り、膜厚:30μm、 らせん階段は淡彩	m ²	88	
(3) ジフクレーン	エポキシ・ポリウレタン樹脂系			
旧塗膜剥離	剥離剤使用(湿式): 塗布・剥離回数2回 、塗布量は各回1.0kg/m ² 、2種ケレン含む	m ²	20	
プライマー処理	エポキシジンクリッチプライマー 膜厚:15μm	m ²	20	
下塗り(1)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用) 膜厚:80μm	m ²	20	
下塗り(2)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り(大気部用) 膜厚:80μm	m ²	20	
中塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料中塗り、膜厚:40μm、 ジフクレーンは黄色系	m ²	20	
上塗り	弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料上塗り、膜厚:30μm、 ジフクレーンは黄色系	m ²	20	

令和5年度 川代ダム取水ゲート塗装工事 工事数量表

工 種	規 格	単位	数量	備考
2. 溶出量試験	取水ゲート、らせん階段、ジフクレーン			
鉛		検体	3	
六価クロム		検体	3	
PCB		検体	3	
3. 仮設工（任意）				
手摺先行型枠組足場	安全ネット有り	式	1	
飛散防止シート	側面	式	1	
飛散防止シート	底面	式	1	
4. 産業廃棄物処理				
産業廃棄物処理	汚泥（有害塗料カス、シート、防護服）	m3	1	